

おれんじニュース

No.418

2025年3月



2/4 雪の御館山



CONTENTS

月例山行案内	2
お知らせ	3
定期トレーニング	4
多良山系7座縦走	5
長崎七高山巡り	6
郡岳	7
おれんじカレンダー	8

2025年	3月	4月	時間	場所
第46回定期総会		5(土)	13:30~17:00	西諫早公民館
専門部会 全体集会	22(土)	26(土)	13:30~14:30	
			14:30~16:00	



月例山行案内

3月

★下記は変更になる場合があるので最終的に配布される計画書で確認願います。

部	技研部	ひまわり部	自然・山行部
月/日(曜)	3/1(土)	3/21(金)	3/23(日)
山名(行事)	郡岳	岩屋山	白口岳・立中山
地 図	郡岳	長崎北西部	大船・久住山
集合場所	郡岳南登山口 9:00	緑地公園 9:00	西諫早駅 6:30
難 易 度	体力1/技術1	体力1/技術1	体力2/技術1
帰着時間	16:30	15:30	19:00
歩行時間	3.0h	5.0h	4.5~5.5h
交通手段	マイカー乗合せ	マイカー	マイクロバス
宿泊施設	なし	なし	なし
温 泉	なし	なし	なし
参加費	800	800	5,000
申込期限	2/22	3/16	3/16
集 約	堺	田 中	今 坂
備 考	山中でのコンパニオンレスキューの実践訓練。	広々とした草原の山頂は、長崎市内が一望。	マンサクを見に行こう。

4月

★下記は変更になる場合があるので最終的に配布される計画書で確認願います。

部	自然・山行部	技研部	ひまわり部
月/日(曜)	4/6(日)	4/20(日)	4/25(金)
山名(行事)	平尾台	とくさがみね 十種ヶ峰	九千部岳
地 図	平尾台	十種ヶ峰	雲仙・島原
集合場所	諫早駅裏 6:30	西諫早駅 6:00	緑地公園 9:00
難 易 度	体力1/技術1	体力1/技術1	体力1/技術1
帰着時間	17:50	21:00	15:00
歩行時間	5.5h	5.0h	4.0h
交通手段	マイクロバス	マイクロバス	マイカー
宿泊施設	なし	なし	なし
温 泉	なし	なし	なし
参加費	4,000	6,000	800
申込期限	3/30	4/13	4/21
集 約	今 坂	山下ちず子	田 中
備 考	2月に野焼きの終わった平尾台が段々と緑に変わっていく様子を楽しむ。	山シャクヤクなどの春の草花鑑賞。	薄い黄緑色の花のヒカゲツツジを見に行く。

事務局より

大山における雪崩遭難事故の検証（3人中1人生存、2人初心者犠牲）

12月21日福岡県勤労者山岳連盟の登山学校特別公開講習。

講師は阿部幹雄氏雪崩事故防止研究会と雪氷災害調査チームに関わり事故の調査に入り山と渓谷にレポートしている。

雪崩の原因：大雪(24時間で42cmの積雪) 遭難の原因—雪崩の走路の別山沢に侵入。

警告：

①SNSや動画投稿サイトの悪影響 北壁8合尾根を登る動画には雪崩走路である沢を登る動画が多く投稿されている。初心者はこの行為が危険であることを認識できない。

②誤解される難易度

大山は標高が低くアクセスも容易で人気、日本海に面した独立峰で一旦天気が崩れると標高3,000m級に匹敵する厳しさ、大山は初心者向きとの誤解を改めなければ事故は減らない。

アドバイス：雪崩の危険性を前提とした安全対策を取らなければならない。

各人必携：①雪崩トランシーバー(ビーコン) ②プローブ(ゾンデ) ③ショベル(金属製)

雪崩遭難のコンパニオンレスキューに課される時間は**18分内**(窒息死を逃れる)。

雪崩トランシーバーの使用訓練が必要(予算の関係で今回サーチ&レスキューは座学のみ)。

講師は、**山は生きて帰ること。自然を敬愛すること**をモットーとしている。(浦田記)



◇ ネパールトレッキングツアーの紹介

12月8日にオレンジOBの岩永宅において、約25年前に川原顧問がチョモランマ遠征時、またその後のオレンジHCが数名でネパールトレッキングを実施した際、キッチンスタッフとして同行されたネパールのTika Ram Gurungさん(通称チカさん)夫妻が日本の窓口の福岡労山の田上さんと一緒にトレッキング会社設立の報告と、宣伝を兼ねて来日し、旧知の川原顧問、浦田氏、国分氏と1時間ほど歓談しました。

チカさんの説明によると、現在のネパールは25年前に比べると大きく変貌しインフラも進み生活環境も改善されて住みやすい国になっていると共に、登山・トレッキングなどにおいても道路の整備、施設の充実が進み、観光も含め多数のコースが設定されており、何人でも対応可能になっているとの事でした。チカさんのトレッキング会社「BOCHI-BOCHI TREK PVT.LTD」では飲食店、宿泊施設も充実しているようです。会員の皆さん参加しませんか？

連絡先：Eメール：info@bochi-bochitrek.com

*詳細は川原顧問がチカさんとのラインが使用できますので連絡を下さい。



記念撮影：左から2人目がチカさん



国花シャクナゲ



◇ 県連より

・県連総会の日程：4月13日(日)13時30分～17時 長崎市民会館の予定

・登山学校委員会：4月27日(日)「春の花鑑賞会」「由布岳東峰登山」*登山は希望者のみ
長崎発 7:00～西諫早駅 7:30～高速～長崎帰着 20時：マイクロバス定員20名、参加費¥5,000

・60記念行事(2027年10月頃に)祝賀会、記念講演、記念誌発行、記念山行の検討中。




定期トレーニング

コンパニオンレスキュー

実施日	2月1日	ビーコン訓練	アザイル(ショートローピング)ピッケル使用の滑落防止	布担架による搬出
場所	運動公園			
参加数	8名			



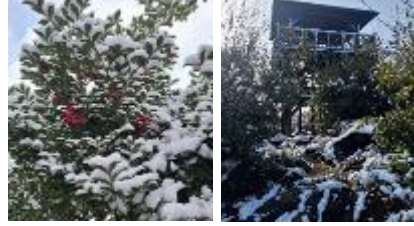


火曜登山

月日	1/14 番神山	1/21 絹笠山	2/4 上山
人数・時間	6名/3.5h	7名/3.0h	4名/3.0h
概要	彼杵道の駅P～登山口～番神山～松岳城址～尾根～203 手前の谷～林道～国道から彼杵道の駅P。妙法寺登山口からは急坂の階段を約50分で守護神堂着。5分後に松岳城址を確認。尾根伝いに203までの途中は登山道不明だった。	白雲の池P～絹笠山～原生沼～温泉街散策～白雲の池P。好天に恵まれ、絹笠山西峰回りでのんびり登った。絹笠山の頂上からの展望は少しカスミがかかっていたが、雲仙岳等望めた。下山は原生沼から温泉街を散策した。	上山登山口～遊歩道～上山～上山展望台～愛宕神社～愛宕神社登山口～上山登山口。雪模様の天気で風もあり寒く、登山道は濡れていてあるきにくかった。愛宕神社の階段の下りは滑りやすいので注意が必要。
備考	番神山への石段・松岳城址 	絹笠山・温泉神社 	登山道・愛宕神社の階段 



水曜登山

月日	1/15 琴ノ岳～稗ノ岳	1/22 金毘羅岳	2/5 御館山
人数・時間	6名/5.0h	8名/3.0h	5名/2.5h
概要	長与ダムP～琴ノ尾岳～仙吾岳～タンタン岩～丸田岳～稗ノ岳～長与ダムP。みかん畑を観ながら琴ノ尾岳へ、展望を楽しんで下る。タンタン岩でも展望とスリルを楽しみ、最後は稗ノ岳頂上に登る。面白い山行となった。	小野体育館P～林道～松尾社～金毘羅岳～展望所～拝殿坂～小野体育館P。展望所からの展望を楽しみ、蓮華石岳を目指したが途中ヤブコギとなり引き返し、拝殿坂の悪路をゆっくり下った。	神社正面入口P～石段～展望台～御館神社～北側登り口～文化会館側歩道往復。時々雪の舞うなか神社周囲の遊歩道を歩いた。サザンカ、サクラ他木々の雪化粧は綺麗だったが、遊歩道は濡れて滑りやすく慎重に足をすすめた。
備考	烽火台跡・タンタン岩 	松尾社・拝殿坂 	雪化粧・展望台 

多良山系七座縦走

(西岳・多良岳・前岳・黒木岳・一の宮岳・帆柱岳)

2025・1・5(日)

行程:

緑地公園 8:00—金泉寺登山口 9:12
～金泉寺参拝～西野越～西岳 10:07
～国見岳～多良岳 11:02～前岳
～黒木岳・昼食 12:16/12:46～一の宮岳
～帆柱岳 13:50～帆柱岳登山口 14:20
—緑地公園 15:40

参加者: 畦崎 今坂 工藤 堺 福岡
本多 鎗水 吉崎 白石 山下ち 吉川

登山概要: 2025年の新年登山です。まずは金泉寺で今年の健康と安全登山を祈願し、西野越を経て一座目・西岳へ登る。無風だが寒い。

急ぎ足で二座目・多良権現へ到着し再度祈願した。次は多良岳からの急な下りでアイゼンの出番もなくロープを頼りに順調に歩けた。

前岳への途中の座禅岩では経ヶ岳の眺望を愉しみ、鬼の岩場で遊び、三座目・前岳到着。

前岳から黒木岳へはいつもの急坂ロープ場を注意しながら進む。春の楽しみである少な目のシャクナゲの冬芽を見つけながら五座目の黒木岳へ到着し昼食を摂った。

六座目・一の宮岳への登山道は荒れていて歩きにくいので樹林帯を選択した。一の宮岳で休憩し、行動食を撮り、集合写真撮影。

最後の七座目・帆柱岳だ！一の宮岳と帆柱岳鞍部から帆柱岳を登り着いた。ピストンで帆柱岳登山口に全員無事に到着する。

予定通りの七座を完歩してデポしていた自家用車で緑地公園にて解散した。歩きなれた道なので道迷いの心配もなくお喋りを楽しみながらの山行だった。



金泉寺にて参拝



多良岳より奥に経ヶ岳



鬼の門で遊ぶ



前岳への登り



一言感想

- *西岳から帆柱岳までの七座縦走するという、身近にも工夫次第で楽しく興味が持てるコース設定が出来てよい計画だった。
- *多良岳から前岳迄の岩場から見える五家原岳、経ヶ岳、雲仙の景色は素晴らしく気持ち良い、私の好きな場所です。黒木岳、一の宮岳、帆柱岳の眺望は残念だった。
- *西野越から西岳への登りは急で少し汗を掻きましたが、他の山は急なアップダウンもなく楽しく歩く事が出来、良いトレーニングになりました。
- *多良岳七座縦走は長崎七高山詣より軽めだけど金泉寺中心にコース変更できるのでお正月初登りに良いですね。



一の宮岳

長崎七高山巡り

1/10(日) 70代
1/10(日)



行程

諏訪神社 8:45～金比羅神社 9:30/:40～金比羅山
10:05/:25～室生寺 10:50

～片淵丸尾公園 11:15/:30～健山 11:50～烽火山
12:25/:10～秋葉大権現神社 13:30/:40～妙相寺
13:50/:55

～英彦山登山口 14:25/:30～飯森神社 15:00/:05

～英彦山 15:25/:45～風頭山 16:45/:55

概要

七高山巡りは長崎人にとって、年の初めの恒例行事である。昨夜来の雪で交通止めなどあるかと思っただが、長崎市内は殆ど雪はなく、山中に入っても日陰にパラリとあるだけで拍子抜けであった。晴天ながら冷え込んでいるので、登山道の隅は凍りついたり、所々溶けたりで、登りも下りも結構体力を要するコースであった。

しかし、70代は強し！最後に市街地を包み込むように歩いた山並を見渡し満足であった。



今坂 福岡 陣川 白石 鎗水

ちょっと感想

※今年初のうっすら雪を踏みしめた。昨年増えた重さに年齢も加わって足が上がりませんでした。誰とも会わない七高山巡りはこれも初めて。今年も無病息災で頑張れるかな？

※うっすら積もった雪は踏ん張る足元を支えてくれず、雪は無くても凍った石で滑るし、雪解けで足元は滑りやすいし、疲れる七高山でした。

※起きて外を見ると雪が積もっていた。今日の山行が心配になるが、長崎市内は雪が少なかったののでホッとした。山頂からの下りは足元が濡れていて滑りそうで疲れた、山頂から見る長崎市内の眺望は素晴らしく、疲れた体に元気をくれた。今回も七高山巡りを約7時間歩き通す事が出来、今年一年もこの調子で元気に健康で仲間と山登りが出来れば良いなと思います。



1/31(金)

郡岳

行程 緑地公園 9:00 一南登山口 10:00～郡岳山頂 11:45 (昼食 35分)
南登山口 13:50～緑地公園 14:50



概要

南登山口から登った。雑木林の中を進むと林道に出る。右に進むと終点となる。郡岳2kmの標識あり再び山道に入る。これから山頂までは緩やかな登りやすい道だが、今回は残雪がありビックリした。足元に注意しながら登る。坊岩経由で郡岳に登る計画だったが、このコースは斜面のトラバスも有るので、雪のため安全を考えて山頂へ直登した。頂上は一面の雪だったが、風もなく、陽当たりも良く暖かい。眺めも素晴らしく、気持ち良かった。帰りは来た道に戻る。下りは雪で滑りやすいので足元を確認しながらゆっくり歩き、滑ることなく全員が無事に登山口に着いた。

一言感想

- *何年ぶりかの雪山でした。心ウキウキ、帰路はアイゼンなしでヒヤヒヤ。Iさんの雪山歩きのレクチャーをしっかりと実施したので滑ることなく無事に下山。この寒さのなか久しぶりの汗もでて快適,快適。
- *思いがけずの雪山登山で、リーダーはゆっくり歩いてくれて、滑ることなく無事に雪山を楽しめました。里山でも冬はアイゼンを持って行かなくてはと思いました。
- *前々日からの降雪で雪がまだ残っていて山頂は青空をバックに銀世界気分をちょっと楽しめました。
- *思いがけない雪景色が見られてラッキーでした。



福岡 中野 吉崎 松岡 今坂 高森 高田 大原

おれんじカレンダー

3月			4月		
1	土	郡岳 (技研部・コンパニオンレスキュー)	1	火	火曜登山 (自主)
2	日		2	水	水曜登山 (自主)
3	月		3	木	緑の地平線歩き (自主)
4	火	火曜登山 (自主)	4	金	
5	水	水曜登山 (自主)	5	土	オレンジHC総会 13:30~
6	木	緑の地平線歩き (自主)	6	日	平尾台 (自然・山行部)
7	金		7	月	
8	土		8	火	火曜登山 (自主)
9	日		9	水	水曜登山 (自主)
10	月		10	木	緑の地平線歩き (自主)
11	火	火曜登山 (自主)	11	金	
12	水	水曜登山 (自主)	12	土	コンパニオンレスキュー(技研部)
13	木	緑の地平線歩き (自主)	13	日	県連総会
14	金		14	月	
15	土		15	火	火曜登山 (自主)
16	日		16	水	水曜登山 (自主)
17	月		17	木	緑の地平線歩き (自主)
18	火	火曜登山 (自主)	18	金	
19	水	水曜登山 (自主)	19	土	
20	木	緑の地平線歩き (自主)	20	日	十種ヶ峰 (技研部)
21	金	岩屋山 (ひまわり部)	21	月	
22	土	専門部会 全体集会	22	火	火曜登山 (自主)
23	日	白口岳・立中山 (自然・山行部)	23	水	水曜登山 (自主)
24	月		24	木	緑の地平線歩き (自主)
25	火	火曜登山 (自主)	25	金	九千部岳 (ひまわり部)
26	水	水曜登山 (自主)	26	土	専門部会 全体集会
27	木	緑の地平線歩き (自主)	27	日	春の花鑑賞会(由布高原)(県連)
28	金		28	月	
29	土		29	火	火曜登山 (自主)
30	日		30	水	水曜登山 (自主)
31	月		31	木	緑の地平線歩き (自主)

川原顧問所掌➡緑の地平線歩き(9:00)、コンパニオンレスキュー(第1土曜 9:30) 緑地公園集合

発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者	鎗水 律夫
編集責任者	高田啓子
編集委員	工藤学、福田清人、吉原昌弘、陣川光子、西寿男、福岡正廣
発行年月日	2025/2/22
郵便振込口座	
ホームページ	http://orangehikingclub.com



オレンジ HP QR